

平成 30 年 6 月 19 日

報道関係者各位

四国大学／四国大学短期大学部
学長 松重 和美

地域の文化遺産「徳島県の民謡」 デジタル保存音源を徳島県立博物館へ寄贈します

人から人へと歌い継がれてきた数多くの民謡は、社会の急激な変化による歌手の減少や新しい芸能文化の出現などにより衰退の一途をたどっています。しかしながら、人々の生活にある喜怒哀楽や風習等が表現された民謡が、貴重な文化遺産であることは多くの人々が認めるところであります。

「徳島県の民謡（平成元年 徳島県教育委員会編）」は昭和 62～63 年に実施された「民謡緊急調査※」の報告書で、1,000 曲余りの民謡に関する調査文書、明治～大正生まれを中心とした一般の人たちが歌うカセットテープ音源によって構成されています。この調査報告書をもとに地域の文化遺産「徳島県の民謡」を後世に遺すため、四国大学短期大学部音楽科 川内由子教授をはじめとした音楽科教員らが四国大学学術研究助成を受け、音源のデジタル保存(CD 化)および採譜を行っています。デジタル保存した音源は、徳島県立博物館に（7月2日 16:00～ 徳島県立博物館 3階応接室にて）寄贈いたします。また本学音楽科の学生が、採譜した民謡の演奏やボーカロイドなどのアレンジに取り組み、徳島県の歴史や文化を学び、さらには音楽療法実習の一環として高齢者施設などでセッションを披露する予定です。

つきましては、ご多用とは存じますが、取材方ご検討くださいますようお願いいたします。

※「民謡緊急調査」は、昭和 54（1979）年度から平成元（1989）年度まで、文化庁による国庫補助事業として全国の都道府県で行われました。その調査の成果は各都道府県の報告書と録音テープなどの形式で文化庁に提出され、国立歴史民俗博物館において文字情報は“日本民謡データベース”として公開されています。



<本件に関する問合せ先>

〒771-1192 徳島市応神町古川字戎子野 123-1
四国大学 大学広報戦略室 （担当：今出）
TEL: (088)665-9578 FAX: (088)665-9579